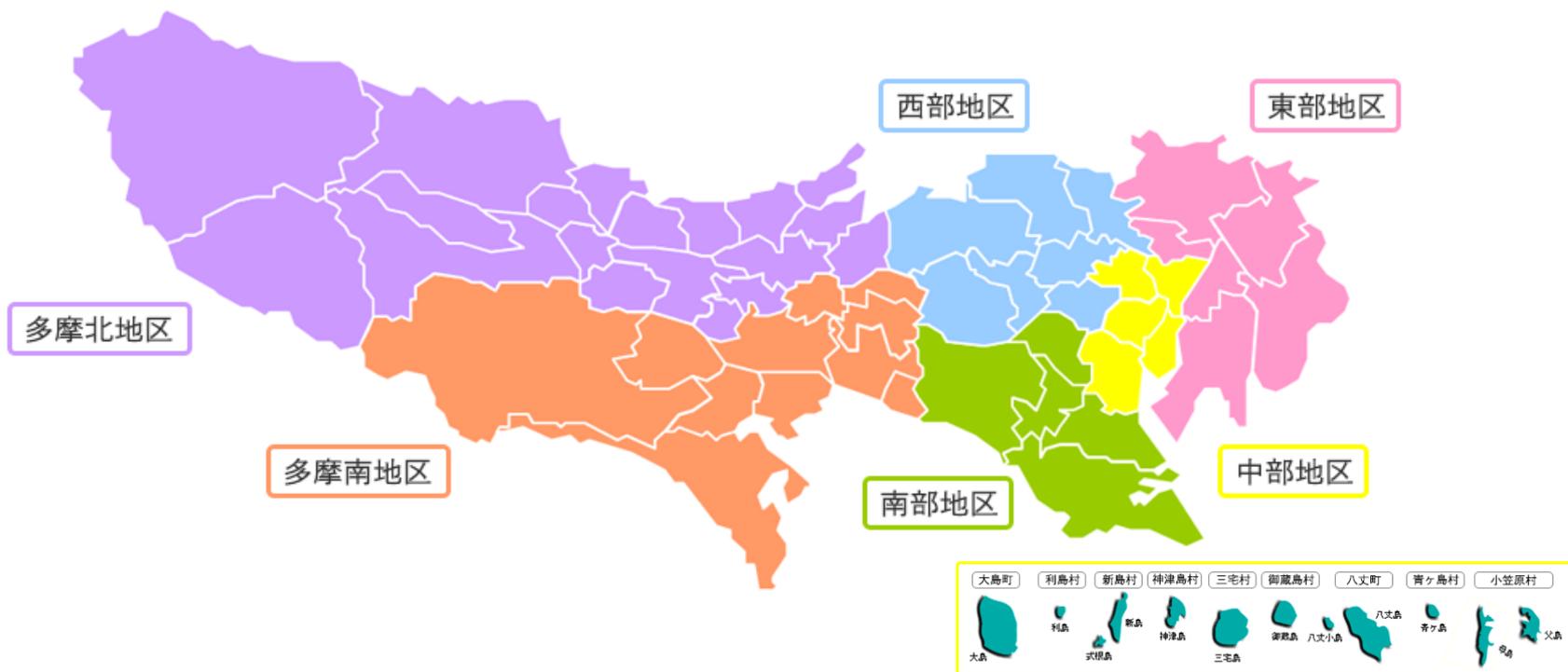


災害対策委員会企画2019年2月
東京ブロックの活動報告

災害対策委員 東京ブロック
帝京大学医学部附属病院
尾崎麻依子

東京都6地区の区分図



东部地区 (6地区)	足立区・荒川区・江戸川区・葛飾区・江東区・墨田区
西部地区 (7地区)	板橋区・北区・新宿区・杉並区・豊島区・中野区・練馬区
南部地区 (5区)	大田区・品川区・渋谷区・世田谷区・目黒区
中部地区 (5区・島しょ)	台東区・中央区・千代田区・文京区・港区・島しょ
多摩北地区 (15市・3町・1村)	昭島市・あきる野市・青梅市・清瀬市・国立市・国分寺市・小平市・立川市・西東京市・羽村市・東久留米市・東村山市・東大和市・福生市・武蔵村山市・奥多摩町・日の出町・瑞穂町・檜原村
多摩南地区 (11市)	稲城市・小金井市・狛江市・多摩市・調布市・八王子市・日野市・府中市・町田市・三鷹市・武蔵野市

23区 26市 5町 8村

東京ブロック代表者

災害拠点病院を地区代表施設として選出している

ブロック代表	船橋公彦	東邦大学医療センター大森病院
ブロック副代表	工藤礼子	国立がん研究センター中央病院
東部地区	小川 匡市	東京慈恵会医科大学葛飾医療センター
	丸山 弘美	東京慈恵会医科大学葛飾医療センター
西部地区	野澤 慶次郎	帝京大学医学部附属病院
	尾崎 麻依子	帝京大学医学部附属病院
	板橋 道朗	東京女子医科大学病院
	花田 正子	東京女子医科大学病院
南部地区	船橋 公彦	東邦大学医療センター大森病院
	佐藤 裕子	東京蒲田医療センター
中部地区	衛藤 謙	東京慈恵会医科大学附属病院
	二宮 友子	東京慈恵会医科大学附属病院
多摩北地区	正木 幸善	青梅市立総合病院
	持田 裕子	青梅市立総合病院
多摩南地区	小嶋幸一郎	杏林大学医学部付属病院
	平山 千登勢	杏林大学医学部付属病院

身体障害者手帳交付台帳登載数 平成30年度(厚生労働省ホームページより)

	ぼうこう・直腸 機能障害	小腸機能障害
全国	215,251 (210,761)	5,187 (5,184)
東京都	21,370 (20,939)	791 (785)

全国の1割

()内は平成29年度

東京ブロックの取り組み①

自治体の備蓄状況把握

東京都23区の備蓄状況

- ・障害福祉課
- ・障害者支援課
- ・防災危機管理課
- ・災害対策課備蓄担当^{など}

区名	備蓄の有無	個人装具の備蓄有無	検討の有無	理由	その他
A区	×	×	×	必要性は感じている	オストミー協会の広報誌みています
B区	○	×	—	6か所の福祉避難所にストーマ用品備蓄あり 個人備蓄は避難所に誰が来るかわからないため行っていない	人数×3日分
C区	○	×	—		2007年度スタート 135人（装具と交換排泄セット）
D区	○	×	—		2019年度スタート 140人
E区	×	×	×		
F区	○	×	—		2019年4月スタート 消化器・泌尿器核50枚
G区	○	×	—		消化器器280枚・泌尿器80枚
H区	×	×	×		
I区	×	×	○		
J区	×	×	×		
K区	×	×	×		
L区	○	×	—		
M区	×	×	×	場所が確保できない ストーマ装具は個別性あり	重身に関するものは要望があり検討している
N区	×	×	どちらとも	防災対策担当としては課題としている	
O区	×	×	×		
P区	×	×	×	医師会や保健所からの要望があれば検討する	
Q区	×	×	×		
R区	×	×	×		
S区	×	×	×		
T区	×	×	×	必要性は感じている	
U区	×	×	○	個々に規格が違うため難しい 区民から備蓄の要望はきている 場所の確保は検討中	
V区	○	×	×		2019年度スタート 50人
W区	×	×	×		

**備蓄ありは7区
検討中が2区
個人備蓄はゼロ**

第8回オストメイト生活実態基本調査報告書

平成31年3月 公益社団法人 日本オストミー協会HPより

人工肛門・膀胱造設者の
生活と福祉

第1部 第8回オストメイト生活実態基本調査報告書
第2部 オストメイトに対する日常生活用具給付事業
等に関する調査報告書

3. 災害への備え ※非会員も対象

「非常持ち出しの準備状況」

準備している 59.3% 準備していない 32.8%

「非常持ち出しにストーマ装具等が入っているか」

入っている 92.9% 入っていない 7.1%

「分散保管について」

している 39.9% していない 50.8%

「災害発生時の避難所について」

知っている 75.0% 知らない 25%

個人で備蓄をしておくように説明も必要！

東京ブロックの取り組み②

ストーマ用品取扱店の把握

病院訪問（入院中）

電話注文 オンライン



自宅に配送

医療者もストーマ保有者も
利用しているストーマ用品
取扱店を把握できている？

＜災害時ストーマ用品の供給ルート＞
災害時対応の手引きより

ストーマ用品セーフティーネット連絡会

↓（無料提供依頼） ↓（事後補填）

被災地のストーマ用品取扱店

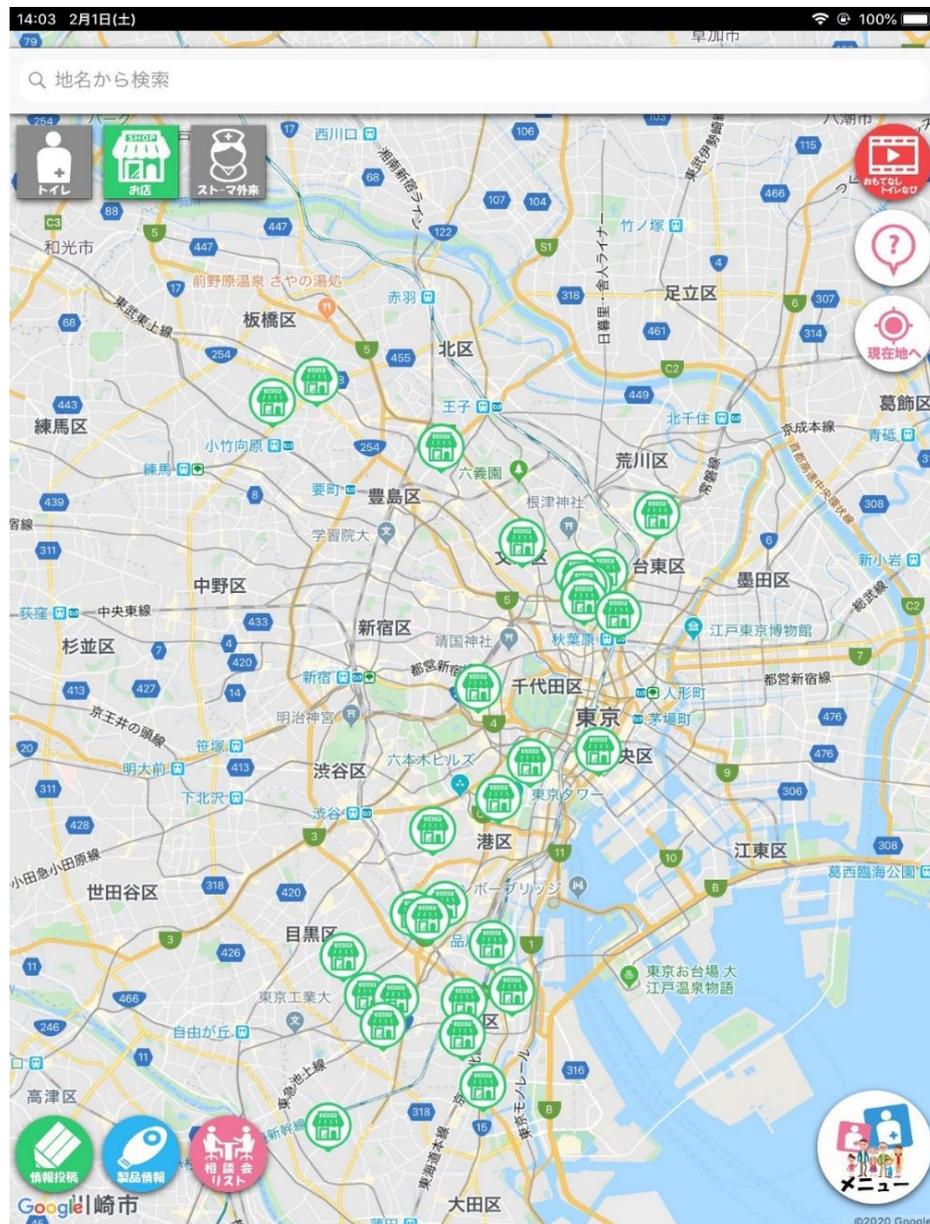
↓（緊急対応品）

ストーマ保有者、病院、自治体、避難所等

担当する地区のストーマ用品取扱店と 場所を把握する！

オストメイトなび (オストメイト支援アプリ)

- ストーマ装具取扱店舗
- オストメイト対応トイレ
- ストーマ外来設置病院
- 緊急時提示用ストーマ情報



東京ブロックの取り組み③

情報の共有

連絡網の目的と運用方法

発災時のストーマ装具支援を目的に、被災地区の情報提供や情報共有を行う。

被災地区からの情報



各地区代表



東京ブロック代表



JSSCR災害対策委員会へ報告

緊急連絡網の方法

1. 電話

誰でもできるが全員に回るのに時間がかかる

2. 安否確認システム

企業レベルの導入、有料

たくさんありすぎて難しい……

3. Gメール

Google提供の無料メール、どの端末でも利用できる
リアルタイムの情報共有はできない

4. SNS (LINE、Facebook、Twitter、mixi など)

LINEのグループトークは複数人がリアルタイムに情報共有
写真も送れる 返信がなくても伝達具合がわかる(既読)
しかし、ガラケーは使用できない×

今後の活動

発災時のストーマ保有者支援のために・・・

- 東京都の備蓄状況把握と情報提供
- 個人でもストーマ装具の備えを行うよう啓蒙
- ストーマ用品取扱店の把握と情報提供
- SNSを使用した緊急連絡網の運用